

平成28年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」

のサルによる被害防止管理委員会会議録

1 会議の名	平成28年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」 のサルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成28年 7月12日 (火) 14時00分～15時07分
3 開催場所	君津市役所 5階 小会議室
4 審議等事項	(1) 平成27年度 被害防止管理事業報告及び決算について (2) その他
5 出席者名	(委員) 石井 清孝、岡根 茂、山口 喜弘、成川 正憲、 茂木 雅宏、小林 琢也、嶋野 利郎、森 孝夫、 伊田 重美、橋本 信一、高木 淳子、池田 文隆 (環境省)木内 尚也 (千葉県)水野 大樹、菊地 里佳 事務局 (調査団)直井 洋司、白鳥 大祐 (富津市)能城 雅幸、山口 芳郎、桐村 修司、知念 孝男 (君津市)矢野 淳一、當眞 紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 一部非公開 ・ <input type="radio"/> 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0 人 (定員5人)
9 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
君 津 市 生涯学習文化課 矢 野 課 長	<p>定刻となりましたので、平成28年度 第1回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、出席者12名、です。過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長代理であります、石井君津市副市長から挨拶を申し上げます。</p>
石 井 委 員 長 代 理	(委員長挨拶)
君 津 市 生涯学習文化課 矢 野 課 長	<p>議題に入ります前に、今年度第1回目の会議で、委員も変わりましたことから、委員の皆様、事務局等の自己紹介の時間をとりたいと思います。</p> <p>(委員自己紹介)</p> <p>(事務局自己紹介)</p>
君 津 市 生涯学習文化課 矢 野 課 長	<p>続きまして、君津市當眞副主幹の方から、お手元に配布した資料の確認をお願いいたします。</p>
(君津市)當眞 副主幹(事) 文化振興係長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 席次表</li> <li>2 会議次第</li> <li>3 当委員会設置要綱</li> <li>4 当委員会等名簿</li> <li>5 平成27年度 被害防止管理事業調査報告書</li> <li>6 平成27年度 被害防止管理事業決算書</li> <li>7 設置要綱の新旧対照表</li> <li>8 国庫補助の計画提出について</li> </ol> <p>以上の8点です。</p> <p>本日の会議資料は以上ですが、不足はございませんでしょうか。ないようでしたら、資料の確認を終わります。</p>

<p>君津市生涯学習文化課矢野課長</p>	<p>次に会議の公開についてですが、この会議は、富津市及び君津市情報公開条例により一般に公開されます。公開の方法としまして、会議の終了後、会議録を作成し、両市のホームページにて公開します。</p> <p>これに伴いまして、会議録が会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するために、委員の中から2名の方に署名委員として署名を頂きたいと思っております。</p> <p>議題に入る前に、2名の方をお選びいただき、後日、御署名を頂きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、会議録作成のために録音させていただきますのでご了承のほどお願いいたします。</p> <p>では、本委員会設置要綱第7条第3項の規定に「議長は委員長の仕事にあるもの」とございますが、今回は富津市副市長が不在となっておりますので、設置要綱第5条第3項の規定により、議長を、石井副委員長をお願いいたします。</p>
<p>石井議長</p>	<p>規定によりまして、議長を務めさせていただきます。円滑な議事進行に務めてまいりたいと思っております。</p> <p>それでは、議題に入る前に署名委員を2名決めたいと思っております。こちらからの指名でよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>石井議長</p>	<p>茂木委員と池田委員をお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>石井議長</p>	<p>では、議題に入ります。議題(1)平成27年度被害防止管理事業報告および決算について事務局の説明を求めます。</p>
<p>(君津市) 眞副主幹(事)文化振興係長</p>	<p>事業報告について説明させていただきます。</p> <p>○ 資料『平成27年度 天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書』より事業報告について説明。</p> <p>・ 事業報告 (被害防止・生態調査と個体数管理・天然記念物指定地域の生息環境調査の事業3本柱について概要を説明)</p>

(君津市) 眞副主幹 (事)  
文化振興係長

○被害防止 (資料: 7ページ ~ 16ページ)

・電気柵による被害防止

既設電気柵の維持管理と改修を行いました。

維持管理については、月1回以上の点検及び故障個所の補修、富津市宇藤原地区の周回電気柵の草刈りを行いました。

既設電気柵の改修については、君津市平田地区改修分51mと富津市宇藤原地区改修分の138mとを合わせて189mの改修を行いました。

電気柵の仕様は、頑丈な材料である日亜鋼業製の柵を使用いたしました。

平成27年度末の段階で電気柵の総延長は、富津市7,465m、君津市2,456m、合計9,921mとなりました。

・追い払いによる被害防止

8月12日から9月6日までの26日間、実施員数は延べ31人日でございました。

・被害実態調査

天然記念物指定地域とその周辺、合計55戸について聞き取りを実施しました。

昨年度と比べると、要現状変更範囲である富津市宇藤原地区ではわずかに減少しましたが、富津側(天然記念物指定地域周辺の富津市側の宇藤原以外の地区のこと)地区及び君津側(君津市側地区のこと)地区では増加傾向が見られます。

ですが、「減少」といった宇藤原地区でも、少数頭のオス、「ハナレザル」といわれる群れとは別のサルによる散発的な被害が多く、地元で被害情報が多く寄せられる状況となっております。

○生態調査と個体数管理 (資料: 17ページ ~ 37ページ)

・テレメーター(電波発信機)の装着

テレメーターを装着するために、学術捕獲許可による箱ワナを計10台、9ヶ所に設置しました。

27年度事業では11頭を捕獲し、うち6頭にテレメーターを装着しました。捕獲個体については、外部計測・採血・写真撮影・形態の観察などを行い、テレメーターの装着に適したオトナメスの個体には装着し、それ以外の個体については放獣をしました。

なお、平成25年度から27年度に環境省関東地方環境事務所による「特定外来生物防除推進調査(ニホンザル交雑個体)」では当被害防止事業でも調査をしている旅名A群及びT-II群をモデルに調査が実施され、旅名A群では交雑個体が確認されております。

・生態調査

T-II群、石見堂群、フジコ群(仮)、タカコ群(仮)、ヌタエ群(仮)、旅名A群、尾崎群の7群を対象に追跡調査を実施しました。

(上記7群の追跡調査の結果について報告。)

・個体数管理

今年度の天然記念物指定地域周辺で、君津市および富津市の有害鳥獣駆除により、駆除されたサルは、君津市側で43頭、富津市側で1

<p>(君津市) 眞副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>5頭、合計58頭でございました。</p> <p>○天然記念物指定地域の生息環境調査 (資料：38ページ～42ページ) 環境改変事業の実施は隔年のため平成27年度は実施しておりません。生息環境調査については、富津市宇藤原の峰上ステーションにおいて、気温と降水量の測定を行いました。</p>																											
<p>(富津市) 桐村文化係長</p>	<p>それでは引き続き平成27年度天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業決算書についてご説明いたします。</p> <p>○決算説明について (資料：『平成27年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業決算書』に沿って説明)</p> <table data-bbox="443 801 1121 929"> <tr> <td>歳入</td> <td>(収入額)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 富津市</td> <td>2,460,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>君津市</td> <td>2,013,000円</td> </tr> </table> <table data-bbox="443 981 1121 1249"> <tr> <td>歳出</td> <td>(支出額)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>報償費</td> <td>36,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>2,941,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>365,600円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>需用費</td> <td>1,111,437円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td>18,963円</td> </tr> </table> <p>決算報告については以上となります。</p>	歳入	(収入額)	4,473,000円		内訳 富津市	2,460,000円		君津市	2,013,000円	歳出	(支出額)	4,473,000円		報償費	36,000円		賃金	2,941,000円		旅費	365,600円		需用費	1,111,437円		役務費	18,963円
歳入	(収入額)	4,473,000円																										
	内訳 富津市	2,460,000円																										
	君津市	2,013,000円																										
歳出	(支出額)	4,473,000円																										
	報償費	36,000円																										
	賃金	2,941,000円																										
	旅費	365,600円																										
	需用費	1,111,437円																										
	役務費	18,963円																										
<p>(調査団) 白鳥</p>	<p>事業報告について補足説明は特にございませませんが、お手元にあります報告書に訂正箇所がございます。</p> <p>(資料『平成27年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書』32ページ下段より2行目、旅名A群の個体数は”34頭+α”ではなく”32頭+α”である旨訂正報告。)</p>																											
<p>石井議長</p>	<p>ありがとうございました。 説明が終わりましたので質疑応答に移ります。 何か御質問等ございませんか。</p>																											
<p>委員一同</p>	<p>特になし。</p>																											

石井議長	<p>質疑も終了しましたが、御異議ございませんか。 御異議もないようなので、議題（１）平成２７年度事業報告及び決算について、御承認いただけますでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
石井議長	<p>どうもありがとうございます。本件は承認されました。 続きまして、「会議次第 ５ その他」でございますが、本日、事務局からの報告事項がございます。また、国・県など関係機関から３名の方がお見えになっておりますので、お話を伺いたと思います。  はじめに、事務局より報告をお願いします。</p>
(君津市) 眞副主幹(事) 文化振興係長	<p>・事務局報告事項 １ 「要綱の改正について」 (機構改革等により、宛職の委員のうち「君津市経済部農林振興課長」及び「千葉県森林組合君津支所長」を「君津市経済部農政課長」及び「千葉県森林組合南部支所長」とそれぞれ変えた旨の報告。)</p>
君津市) 眞副主幹(事) 文化振興係長	<p>・事務局報告事項 ２ 「平成２９年度文化財関係国庫補助事業計画の提出について」</p>
	<p>これまでの本被害防止管理委員会会議の中でも、文化庁、県文化財課より「天然記念物指定地域及びその周辺の全体の様相を把握する必要がある。」とのご指摘があり、国庫補助事業を活用し、ペースを早めて進めてはどうかというアドバイスを頂いていたところでございます。これを受けて、富津・君津両市では関係機関との協議を重ね、事業実施について検討してきたところですが、平成２９年度からの事業実施に向け、今回、事業の計画の提出をいたしましたのでご報告いたします。 まず、計画を提出した理由でございますが、天然記念物「高宕山のサル生息地」の被害防止と今後の保存管理について、両市の費用負担のみでは事業が遅延し、近年問題視されている交雑対策にも迅速な対応が困難なため、国庫補助金を活用し、これまでの被害防止管理事業に加え、高宕山独自の保存管理計画策定を行うことを目的としております。 今回、計画を申請した事業は、文化庁の天然記念物食害対策費国庫補助事業というものでございまして、天然記念物に指定された動物による食害防止対策のための補助金ではありますが、保存管理計画の策定についても活用できるということですので、被害防止対策を行いながら保存管理計画の策定を目指すということで補助金の活用を目</p>

<p>君津市) 當眞 副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>指しております。</p> <p>計画の提出は、富津市・君津市、管理団体である両市から行っております。</p> <p>計画の内容ですが、平成29年度から33年度の5カ年を第1期として捉え、平成34年度以降も継続申請について考えているところではございますが、事業内容としては、指定地域とその周辺全体の群れ数・頭数の把握、その中から文化財の対象となる群れの確認、被害防止、保存管理計画の策定、アカゲザルとの交雑対策、をこの事業の中で進めていきたいと考えております。</p> <p>当初、本委員会で委員の皆様にご理解を得て、計画提出する流れで両市で準備をしてきたところですが、今年度の文化庁の補助金の照会が1ヶ月程前倒しで出され、提出締切も6月13日と前年より1ヶ月強程早まりました。今回を逃すと、平成29年度からの実施はできなくなるため、両市の関係委員の決裁を受け、提出をさせていただきます。</p> <p>今後のスケジュールとしては、7月15日に千葉県文化財課とのヒアリング（文化財補助事業計画について）がございます。計画が採択されるかどうかはまだ決定ではございませんが、例年ですと、年明けに内示が出て、計画を提出し採択をされれば事業の実施、という流れになるかと思います。</p> <p>以上、事務局よりご報告させていただきます。</p>
<p>石 井 議 長</p>	<p>ただいまの事務局からの説明について何か御質問等がございますか。</p>
<p>委 員 一 同</p>	<p>特になし。</p>
<p>石 井 議 長</p>	<p>ないようですので、関係機関からの報告ということで、環境省関東地方環境事務所の木内様、お話をお願いいたします。</p>
<p>環 境 省 木内担当官</p>	<p>・平成28年度業務の概要について</p> <p>平成25年度～27年度の3か年間、「特定外来生物防除推進調査（ニホンザル交雑個体）」ということで、試験捕獲、テレメトリー調査、交雑調査を実施し、データを蓄積してきたところでございます。</p> <p>その結果、千葉県内、ニホンザルの生息地のほぼ全域に、交雑個体が分布しているということが分かってまいりました。平成28年度については、蓄積したデータを基にして、ニホンザルとアカゲザルとの交雑種防除手法の検討、マニュアルの作成、DNAの解析結果等を基準として図案化して、交雑の進んでいる地域・余り進んでいない地域・保全の対象とする地域を分けていく取り組みを行っていきたいと考えております。</p>

石井議長	御質問等ございますか
委員一同	特になし。
石井議長	ないようですので、続きまして、千葉県文化財課の水野様、お願いいたします。
県文化財課 水野文化財主事	<p>県文化財課としては、高宕山地域の交雑問題と被害防止が話題に上るところでございます。天然記念物指定地域の中に生息しているサルは文化財として保護していこう、しかし、指定地域の外側に居るサルについての扱いについてはどうなのか？ということがよく聞かれる状態です。アカゲザルとの交雑により文化財として価値あるサルが混血によって失われてしまうというのは憂慮すべきことであるので、テレメーターの装着や血液採取等を含めて混血を防止し、文化財としてのサルを保全していけたらと考えているところでございます。</p> <p>指定地域の中で、何か行為をする場合は、今までであれば文化庁へと現状変更申請を提出しておりました。内容としては、市が県へと進達した内容を文化庁へ伝えるということで動いておりました。平成28年4月で文化財保護法施行令が一部改正され、内容によっては、千葉県でも権限委譲ということで、許可を出せるようになった部分があります。血液の採取などは、県でも今回の改正によって許可を出せるようになったということで、今までに比べて、申請があつてから早い期日で許可を出せるようになったので、今後、何か、指定地域内で現状変更行為を行いたいということであれば、市に相談頂く等をして、県の方でも許可を出せるものについては出していきたく考えております。</p>
石井議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、千葉県自然保護課の菊地様、お願いいたします。</p>
県自然保護課 菊地班長	<p>県で行っている野生猿の関係の事業としては、高宕山地域以外について対象として行っております。ニホンザル対策、アカゲザル対策、交雑対策、という形で分けて事業を行っております。</p> <p>ニホンザルについては、今までと同様、テレメーターの装着及びテレメーターを活用した行動域の把握を実施しておりますが、まだまだ、把握が充分でないというのが正直なところでございます。</p> <p>交雑対策事業については、県としては、過去の分析の結果、交雑率が比較的に高かった勝浦市を中心に対策を実施してきました。遺伝子分析をかけて交雑判定されたものについては除去をし、尚且つ、農作物被害もあるということで、群れの縮小も試みて、試験的に交雑対策</p>



県自然保護課 菊地 班 長	<p>と被害対策を同時に実施した際の群れへの影響、被害の発生状況の変化を、今後、見ていきたいと考えております。</p> <p>県の基本計画の内、第11次（鳥獣保護管理事業）計画が今年度で終期となります。それと同時に第二種特定鳥獣管理計画の獣類別の計画についても今年度で終期となります</p> <p>今後は、次の計画に向けて策定作業を実施していくべく動いております。</p> <p>ニホンザルについては、先ほど、群れの把握がまだまだ十分でない と申し上げましたが、群れを管理するためには群れを知らなければならず、まずは、群れを知ることから次の計画に向けて準備をしていきたいと考えております。</p> <p>次の計画の中で、国の方で試験をしていただいていた交雑の判定基準について、今の基準を見直して、新しい基準を導入する方向で検討しております。</p> <p>また、計画を策定するにあたって、今後、何かとご協力をお願いする場面も出てくるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。</p>
石 井 議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのお2人の御説明に御質問等ございますか。</p>
池 田 委 員	<p>勝浦市における交雑率が高かった、とのことであるが、どれくらいの割合だったのでしょうか。</p>
県自然保護課 菊地 班 長	<p>県の今現在の交雑判定基準では累計で3～4%程度という結果でございました。</p>
橋 本 委 員	<p>勝浦の交雑個体について、とある作業場で飼っていたカニクイザルが逃げ出したという話を聞いている。勝浦のサルについてはアカゲザルなのか、或いは、別の種なのか。</p>
県自然保護課 菊地 班 長	<p>基本的には、アカゲザルかニホンザルなのかというマーカで判定をしている現状でございます。ただ、アカゲザル以外にも別の種類の外来種が居たというお話は耳にしますので、今後は、どこまで、県として分析をするべきなのかという問題もありますし、あくまで、外来種とニホンザルとが分けられればよいという考えもあるので、将来的な課題とさせて頂きたく思います。</p>
池 田 委 員	<p>天然記念物指定地域はあくまでも人間が設定したものでありサルにとってはその線引きは関係が無い。サルの出入りがあるという現実</p>

池田委員	<p>がある中での指定地域の外と内との問題をどうするのでしょうか。</p>
<p>県文化財課 水野文化財主事</p>	<p>確かに、動物には行動範囲というものがございます。(指定地域の)外にいるサルについては、指定地域の内側に居るサルが外にでてしまっているのか、或いは、全く別の所から来ているサルなのか、ということについては可能な限り調べてほしく思います。指定地域を生活の根拠地としているかどうかというところで判断をしていければと考えております。</p>
(調査団)直井	<p>文化庁補助事業に向けて動いているのは事務局からの説明のとおりでございます。</p> <p>本来は、冒頭にあるとおり、文化財の対象となる群れを選定すること、被害防止の策をより進めること、という大きな目標がありました。ところが、ここに来て交雑種の問題が出てきており、補助事業の中で交雑対策を進めていくとなると、予算的に事業内容が圧迫されることと思います。現状では中々難しい措置ではあるとは思いますが、交雑問題については、例えば、国・県から交雑判定のための費用等サポートをしていただく手がなにかご検討していただければと思います。</p> <p>また、現状では、遺伝子分析に時間がかかってしまいます。</p> <p>捕獲したサルについて、形態による判定ではニホンザルか交雑種なのか中々判断が付かないと、遺伝子判定にかけ、判定結果が出るまでの間当該サルを飼育する必要も発生してこうようかと思いますが、判定の迅速化についてもお願いしたいと思います。</p>
嶋野委員	<p>宇藤原地区に居住しており区長をやらせていただいております。</p> <p>地元で“群れ”ではなく数頭の“ハナレザル”が集落に住みつ়く状態となっており、夏野菜などの農作物への被害が出ており、天然記念物の保護という関係もあるのかもしれませんが、せめて、被害を与える個体だけでも捕獲できないか、ご検討頂ければと考えております。</p>
(調査団)直井	<p>保護管理計画においては群れの管理ということで話は進んでいるし、本事業においても群れに対してテレメーターを装着し追跡しつつ状況に応じて追い払いや農作物被害等の状況の調査をしております。</p> <p>一方で、ニホンザルは、群れの中に数頭のオトナのオスは居るが、それ以外のオスについては、早ければ2～3歳、遅くとも5～6歳になると群れを離れて、オスだけの小グループやハナレザルということで1頭で動くようになります。こうした群れを飛び出したサルについては、群れを管理しようという体制では把握しきれないというのが現状です。</p> <p>現在の宇藤原地区については、周回電気柵が整備されてきており、群れ自体が集落の中を突っ切るようなことはなくなったものの、4～</p>

(調査団) 直井	<p>5頭位の少数のオスが居ついた状態となっており、どこに居るのか中々把握が出来ず、出てきたところに追い払いを行うと今度はどこに出てくるかわからない状況です。この4～5頭のサルは群れとは全く別行動ということで、宇藤原地区は天然記念物指定地域に関する現状変更を必要とする地域であっても、このようなオトナオスのグループ或いはハナレザルについては捕獲ないし駆除は可能としてもよいのではないかと考えております。</p> <p>富津市宇藤原地区・高溝地区、君津市平田地区では駆除を目的として捕獲は行われておりませんが、今後、群れ単位での個体数管理をしていく可能性も含めて、当該地域内でのサルの捕獲が可能となるように検討していただければと思います。</p>
県文化財課 水野文化財主事	<p>(宇藤原地区においての) 駆除ということについては、県では中々許可が出せず、(駆除するためには)、問題となっているサルはどこ由来のサルなのかといった情報を文化庁へと伝えなければいけないのが現状でございます。検討課題とさせていただきます。</p>
(調査団) 白鳥	<p>お願いがございます。</p> <p>本被害防止事業や県の事業などで各群れにテレメーターをつけるように取り組んでおりますが、有害鳥獣駆除の関係で、そうした折角テレメーターを装着した個体がたまたま銃器により駆除されてしまうといったことがございます。狙って打っているというわけではないことは存じておりますが、テレメーターがついたサルが居るということに関係する方に周知していただく、それだけでも駆除されてしまうようなことが減るかと思っておりますので、お願いしたいと思っております。</p>
(調査団) 直井	<p>故意に(銃器で)打っているわけではないということは十分に承知しております。もし、テレメーターをつけたサルの群れがどういった構成でどういった遊動域をとっているのかといったことや、テレメーターの形状についてなど、何か資料が必要ということであれば、写真等の資料を提供しますので、お声をかけていただければと思います。</p>
森 委 員	<p>地元(清和地区)で確かにハナレザルの類のサルが問題となっており、農作物への被害が出ている現状でございます。</p> <p>また、君津市の粟倉側から上がった鹿野山の麓の部分に、20頭程度のサルが居るのを見ましたが、調査の対象となっている地域なのでしょうか。</p>
(調査団) 直井	<p>現状では、当外、鹿野山の麓の地域(君津側)については、テレメーターを装着している群れがないため把握が出来ていない現状で</p>

(調査団)直井	ございます。
石井議長	銃器で誤って駆除されてしまうということについては周知していただければと思います。
(調査団)白鳥	サルの行動域等については資料『平成27年度 被害防止管理事業調査報告書』33ページをご参照ください。
石井議長	ありがとうございました。他に何かございますか。 ないようですので、以上で本日の議題を終了といたしました。 これにて議長の職を解かせていただきます。 御協力ありがとうございました。
君津市 生涯学習文化課 矢野課長	それでは、以上をもちまして、平成28年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を閉会といたします。ありがとうございました。